

メルマガ全部協プライムニュース 平成 30 年 4 月号

2. 支部・ブロック協議会活動報告

1) 福岡県自動車部品商組合が理事会開催

福岡県自動車部品商組合（福部商）が3月9日に福岡市で第4回理事会を開催しました。理事会後は、事業委員や提携事業者などによる「ZEN-bukyo モール」や「ZEN-bukyo Tool モール」、「Web 互換品番システム」、新たに開始する ETC2.0 車載器セットアップ事業などの説明会も行いました。

2) 全九州自動車部品商組合（全九部）が総会開く

全九州自動車部品商組合（全九部）は、3月17日に鹿児島市のホテルパレスイン鹿児島で総会を開催しました。総会では平成30年度予算案等を承認可決、全部協の新戸部理事長が来賓として出席し祝辞を述べたほか、情報専門委員による「ZEN-bukyo Tool モール」等の事業説明会も行われました。また、船場専務理事が財政改善策など全部協の活動状況について説明しました。

3) 群馬県支部が事業説明会

群馬県支部が3月24日、高崎市のホテルグランビュー高崎で事業説明会を実施しました。説明会では、「ZEN-bukyo モール」や「ZEN-bukyo Tool モール」、ETC2.0 車載器セットアップ事業等について資料をもとに説明しました。

4) 京都府自動車部品商組合が総会

京都府自動車部品商組合は4月6日、京都ホテルオークラで総会を開催し、平成30年度事業案・収支予算案等を承認可決しました。今川理事長（写真・右）は、「日本の文化ともいえる軽自動車走っている限り、われわれ部品商はまだ伸びしろがあるはず。組合がそのお手伝いをできればいい」とあいさつし、今後の組合活動に対する意欲を示しました。また、来賓としてあいさつした全部協・新戸部理事長（写真・左）は、「人手不足による整備士不足に加え、大手ディーラーは働き方改革によって整備を受け付けられない時が来る。その時こそ整備工場のチャンス。全部協は整備技術の多様性に向け情報発信をしていく」と抱負を述べました。

